

(54) WAVE ANGLE CHANGING APPARATUS FOR SURFING TRAINING EQUIPMENT

(11) Kokai No. 52-41892 (43) 3.30.1977 (21) Appl. No. 50-116942

(22) 9.27.1975

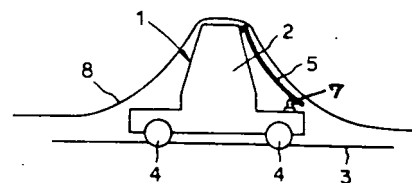
(71) MITSUI ZOSEN K.K. (72) MITSUNORI MOCHIZUKI

(52) JPC: 84J0

(51) Int. Cl². A63B69/00

PURPOSE: To provide a wave angle changing apparatus for surfing training equipment, which comprises a movable body adapted for producing surfing waves over an extended sheet, and in which inclination of a wave producing plate is arranged to be freely adjustable.

CONSTITUTION: In order to produce surfing waves on horizontally extended sheet 8, a movable body 1 is placed under the sheet 8 in the manner that it is freely movable under the same. Wave producing plate 5 is attached to one side (or both sides) of the frame of movable body 1 through the intermediary of cylinder 7, such that inclination angle of the plate 5 can be freely adjusted. Thus, by changing the inclination angle of wave producing plate 5, surfing waves of desired angles can be produced.





特許願 (A) 昭和 50.9.27 日

特許庁長官殿

1. 発明の名称

サーフイントレーナ用波傾斜可変装置

2. 発明者

住 所 東京都小金井市貫井北町 5-25-16

氏 名 望 月 光 宣

3. 特許出願人

住 所 東京都中央区築地5丁目6番4号

名 称 (590)三井造船株式会社

代表者 山 下 勇

4. 代 理 人 〒100 居所

東京都千代田区永田町2丁目4番2号

秀和溜池ビル8階

山川国際特許事務所内

電 話 (580) 0961 (代表)

氏名 (6462) 弁理士 山川政樹(ほか1名)

5. 添附書類の目録

(1) 明 細 書	1 通	50 110040
(2) 図 面	1 通	
(3) 発明説明書	1 通	
(4) 委任状	1 通	

明 細 書

1. 発明の名称

サーフイントレーナ用波傾斜可変装置

2. 特許請求の範囲

可撓性のシートの下側を移動する移動台の進行方向側において、その上端部を回動自在に軸承された造波板の傾斜角度を可変し得るように構成したことを特徴とするサーフイントレーナ用波傾斜可変装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明はサーフイントレーナ用波傾斜可変装置に関する。

本出願人は先に地上でもサーフインの練習ができるサーフイントレーナを明らかにした。このサーフイントレーナは数10m×百数10mの規模でフレキシブルなシートを水平に展張し、このシートの下に理想的なサーフィン波の断面形状を模した断面を有する移動台を走らせ、シートをこの移動台の形状に沿って変形させ、サーファにこのシートの斜面上でサーフィンのトレーニングを行

①9 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 52-41392

④公開日 昭52.(1977) 3.30

②特願昭 50-116942

②出願日 昭50.(1975) 9.27

審査請求 未請求 (全2頁)

庁内整理番号

6581 36

⑤2日本分類

84 J0

⑤1 Int. Cl²

A63B 69/00

なわせようとするものである。もちろんトレーニングばかりでなくサーフィン遊戯としての新しい屋外スポーツとしての魅力をも備えている。

しかし、先に明らかにしたサーフイントレーナは移動台の国定的な斜面によつてあらかじめ定められており、サーファの技術に合わせて波の傾斜を変えることができず、技術が進歩しても常に同一の傾斜の波によつてトレーニングを行なうことになるという点で改良の余地があつた。

本発明は以上のような事情に鑑みなされたものであり、以下図面に示す実施例とともにその詳細を説明する。

第1図および第2図は本発明の一実施例を説明するもので、図において全体を符号1で示すものは移動台で、断面は凸の字状のフレーム2を有し、その両側には案内レール3上を転動する車輪4を備えている。

一方、移動台2の進行方向側面にはサーフィン波の波面の曲面形状を模して成形された造波板5がその上端をピン6によつて回動自在に軸承され

た状態で取付けられている。造波板5の自由端はフレーム2側に固定された2個のシリンダ7、7のロッドの先端に回動自在に軸承されている。なお、第1図において符号8で示すものはシートで、耐摩耗性のある表面に多数の植毛を行なつて摩擦係数を小さくしたものが望ましい。

本実施例は以上のように構成されているため、サーファの技術に応じてシリンダ7を駆動させることにより造波板5の傾斜を変化させシート8によつて形成される波の傾斜を変化させることができる。

なお、以上の実施例においては造波板5は移動台1のフレームの一方の側面だけに取付けた状態のみを示したが、本発明はこれに限定されることなく移動台1が往復するとき往路および復路で使用できるようにフレーム2の両側に設けることもできる。

また、数10mの幅のある場合には横方向に沿つていくつかに分割してそれぞれ異なつた傾斜角度で傾斜させ、複数人の技術の程度のあるサ

特開 昭52-41392(2)
ーファが別々の傾斜の波を楽しむことができるように構成してもよい。

以上の説明から明らかなように、本発明によれば造波板の傾斜角度を自由に調節することができるため、サーファの技術に応じて所望の傾斜角のサーフィン波を発生させることができ、変化に富んだサーフィンを楽しむことができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図および第2図は本発明の一実施例の側面図および斜視図である。

1・・・移動台、2・・・フレーム、3・・・案内レール、4・・・車輪、5・・・造波板、6・・・ピン、7・・・シリンダ、8・・・シート。

特許出願人 三井造船株式会社

代理人 山川 政 (特許第1名)

-4-

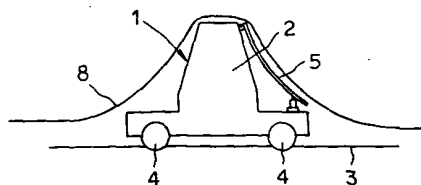
6. 前記以外の代理人

居所 〒100 東京都千代田区永田町2丁目4番2号
秀和溜池ビル8階
山川国際特許事務所内
電話 (580) 0961 (代表)

氏名 (6713) 弁理士 黒川弘朗

-3-

第1図



第2図

